

登録No	長 さ cm	巾 幅 cm	厚 さ cm	重 量 kg	備 考
83	0.50	0.30	0.29	1.67	大崩れ
84	0.57	0.35	0.34	1.63	"
85	0.53	0.37	0.34	1.43	亀裂
86	0.54	0.32	0.37	1.69	"
87	0.56	0.31	0.28	1.81	"
88	0.55	0.31	0.33	1.78	亀裂
89	0.54	0.32	0.33	1.69	"
90	0.52	0.36	0.33	1.44	虫喰痕
91	0.50	0.35	0.33	1.43	"
92	0.52	0.34	0.32	1.53	"
93	0.50	0.36	0.38	1.39	"
94	0.49	0.32	0.34	1.34	"
95	0.47	0.35	0.34	1.34	亀裂
96	0.51	0.33	0.31	1.56	"
97	0.48	0.32	0.35	1.39	"
98	0.50	0.32	0.36	1.56	"
99	0.59	0.39	0.30	1.67	亀裂
100	0.48	0.33	0.36	1.52	"
101	0.50	0.34	0.33	1.47	"
102	0.45	0.37	0.32	1.22	"
103	0.46	0.32	0.34	1.44	亀裂
104	0.46	0.33	0.33	1.39	"
105	0.48	0.34	0.33	1.41	"
106	0.49	0.33	0.32	1.48	亀裂
107	0.46	0.35	0.36	1.31	"
108	0.51	0.34	0.34	1.50	"
109	0.42	0.34	0.35	1.24	"
110	0.46	0.33	0.33	1.39	"
111	0.47	0.31	0.27	1.52	"
112	0.50	0.29	0.28	1.72	亀裂
113	0.41	0.29	0.29	1.42	"
114	0.41	0.31	0.29	1.61	"
115	0.46	0.31	0.31	1.48	亀裂
116	0.53	0.34	0.29	1.53	"
117	0.47	0.31	0.32	1.52	"
118	0.42	0.31	0.32	1.35	"
119	0.47	0.35	0.34	1.34	亀裂
120	0.47	0.32	0.31	1.47	"
121	0.43	0.33	0.33	1.30	亀裂
122	0.48	0.34	0.32	1.40	"
123	0.48	0.29	0.29	1.59	"
124	0.47	0.30	0.31	1.57	"
125	0.47	0.29	0.27	1.62	"
126	0.43	0.27	0.28	1.59	亀裂
127	0.48	0.33	0.30	1.39	"
128	0.46	0.32	0.29	1.44	"
129	0.45	0.27	0.28	1.69	"
130	0.42	0.26	0.24	1.62	"
131	0.40	0.26	0.24	1.62	"
132	0.36	0.28	0.27	1.44	亀裂
133	0.46	0.28	0.32	1.74	"
144	0.41	0.35	0.33	1.41	"
以上 1 号建物跡					
94	0.65	0.41	0.42	1.59	大崩れ
95	0.63	0.36	0.37	1.75	"
96	0.57	0.34	0.36	1.68	"
97	0.56	0.35	0.35	1.60	"
98	0.48	0.31	0.32	1.55	"
99	0.48	0.29	0.28	1.66	"
100	0.47	0.29	0.27	1.62	"
101	0.42	0.28	0.28	1.50	"
102	0.43	0.29	0.30	1.48	"
33	0.36	0.30	0.28	1.20	以上 2 号建物跡
以上 3 号建物跡					

葛の実 計測表

133	( 0 75)	( 0 68)	( 0 60)	—	大崩れ、虫喰病、1 部欠損
134	0.76	0.54	0.46	1.41	"
135	0.65	0.52	0.36	1.25	"
136	0.67	0.49	0.32	1.37	"
137	0.60	0.47	0.45	1.28	"
138	0.73	0.52	0.56	1.40	亀裂
139	0.63	0.44	0.34	1.43	"
140	0.55	0.46	0.55	1.19	"
141	0.66	0.59	0.49	—	1 部欠損
142	0.66	0.52	0.45	1.27	"
145	0.63	0.38	0.35	1.63	以上 1 号建物跡

登録No	長 さ cm	巾 幅 cm	厚 さ cm	重 量 kg	備 考
103	0.72	0.56	—	—	1 部欠損
104	0.54	0.49	0.34	1.35	"
105	( 0 64)	0.47	( 0 34)	—	大崩れ、1 部欠損 以上 2 号建物跡
34	0.64	0.46	0.36	1.37	大崩れ
35	0.65	0.52	0.33	1.25	"
36	0.64	0.43	0.32	1.49	大崩れ
37	0.68	0.47	0.37	1.45	"
38	0.74	0.47	0.38	1.57	"
39	0.76	0.53	0.36	1.43	"
40	0.81	0.45	0.40	1.80	"
42	0.80	0.47	0.32	1.47	"
43	0.79	0.51	0.34	1.55	大崩れ、虫喰痕
44	0.81	0.50	0.33	1.62	"
45	0.75	0.52	0.41	1.44	"
46	0.73	0.49	0.40	1.49	"
47	0.77	0.47	0.36	1.64	"
48	0.76	0.53	0.44	1.44	"
49	0.71	0.52	0.36	1.25	"
50	0.76	0.54	0.41	1.41	"
51	0.73	0.49	—	1.49	"
52	0.75	0.48	0.43	1.56	"
53	0.71	0.49	0.38	1.47	"
54	0.71	0.45	0.44	1.58	"
55	0.62	0.52	0.34	1.19	"
56	0.72	0.45	—	1.60	"
57	0.58	0.48	0.42	1.20	"
58	0.75	0.50	0.38	1.50	"
59	0.65	0.41	0.38	1.48	"
60	0.61	0.43	0.36	1.15	"
61	0.70	0.43	0.38	1.63	"
62	0.70	0.28	0.38	1.89	"
63	0.60	0.45	0.35	1.33	"
64	0.78	0.57	0.47	1.37	"
65	( 0 77)	( 0 50)	( 0 46)	—	表面剥離
66	0.71	0.52	0.40	1.37	大崩れ
67	0.66	0.44	0.38	1.50	"
68	0.63	0.49	0.42	1.28	"
69	0.67	0.49	0.43	1.37	"
70	0.59	0.37	0.29	1.59	"
71	0.66	0.44	0.57	1.50	"
72	0.58	0.47	0.32	1.26	"
73	0.60	0.43	0.35	1.37	"
74	0.65	0.49	0.34	1.33	"
75	0.63	0.54	( 0 35)	1.17	1 部欠損
76	0.61	0.48	0.41	1.27	大崩れ
4	0.42	0.36	—	1.17	1 部欠損
5	( 0 40)	0.35	—	—	1 部欠損
6	( 0 30)	0.28	—	—	1 部欠損
以上 4 号建物跡					

植物種子 計測表

106種	0 10	0 10	0 10	0 10	—	イヌガラシ 以上 2 号建物跡
11	0.28	0.11	0.05	2.55	ズメノカタビラ	
12	0.27	0.09	0.04	3.00	4 号建物跡	
7	0.35	0.20	0.21	1.75	ミソゾウ	
8	0.26	0.20	0.16	1.30	4 号建物跡	
9	0.25	0.21	0.11	1.19	ズメノヒエ	
10	0.24	0.26	0.11	1.20	4 号建物跡	
13	0.55	0.34	0.13	1.62	タグラシ	
14	0.60	0.21	0.12	2.85	4 号建物跡	
15	0.25	0.22	—	1.14	ミナフサ	
16	0.20	0.18	—	1.11	4 号建物跡	
17	0.25	0.16	0.07	2.50	ノヒンバ	
18	0.23	0.13	0.08	1.77	4 号建物跡	

## V まとめ

- 発見された遺構・遺物は、ろくろ使用以前の瓔形・杯形土器を伴う焼土遺構2基と、中世の館跡に伴うと思われる柱穴群、半地下式建物跡4棟、土塁跡である。
- 焼土遺構は、ろくろ使用以前の土師器を伴出しており、熊堂古墳群との関連も考え得る。
- 表土等から出土した瓔形土器に頸部有段で、長胴のものと球胴のものがあり、長胴のものは体壁の内外が刷毛目調整されたものが多く、1部磨きのあるものもみられる。球胴のものは、体壁の内面は刷毛目、外面は磨き調整され、外面は円塗のものもみられる。杯形土器は、有段丸底のものが多く、内黒処理をしたものと、しないものがみられる。これらは、焼土遺構から伴出した遺物と同時期と思われ、西側路線外からも発見（第5図13、図版5-13）されている。
- 瓔形土器と杯形土器の中で、ろくろ使用のものが若干みられ、瓔は、箆削り箆などで調整が体部に施され、杯は、内黒処理のものに手持ち箆削り調整のものがみられるが、非内黒のものは無調整のものが大部分である。中に1点、内面に墨と朱で、円筒状の絵らしきものを画いたものがあった。（図版7-37）。これらは平安時代の遺物と思われる。
- 館跡に伴うと思われる柱穴群は、南縁西側に集中し、掘立柱建物跡と思われる。
- 半地下式建物跡4棟は、柱穴群の北側にあり、住居跡とも倉庫跡とも推定されているが、いずれとも断定する資料はない。火脹した炭化穀物が出土した事から火災にあったのではないかと思われるが、明確ではない。中世陶器類等は発見されなかった。
- 土塁は、北側にのみ確認され、東側、南側には確認されなかったが、いずれも比高約2mの段丘崖で、土塁があったのではないかと思われる。

本調査地区は、根子氏の居城「中館」の東端部といわれるが、東縁段丘崖の東側は、南北に細長く伸びる帶状の低地で、空堀と思われ、巾10~15m、長さ約100mで、現在水田となっており、その東側は水田より約1mほど高くなり、地蔵堂とその境内と宅地に若干の畠地で、ここが館の東端部とも考えられるが、明確ではない。「埋藏文化財地図、作製のための現地調査記録カード」<sup>(注3)</sup>に依れば、「周溝をもち土塁によって三つに区分されており、東西250m、南北130mの横地形式の館である」とあり、東側の地蔵堂付近は入れてないようである。

注1) 日本国都大系2 創史社 1980 P274

注2) 埋藏文化財地図 岩手県教育委員会 1974

注3) 岩手県教育委員会 昭和42年12月9日調査

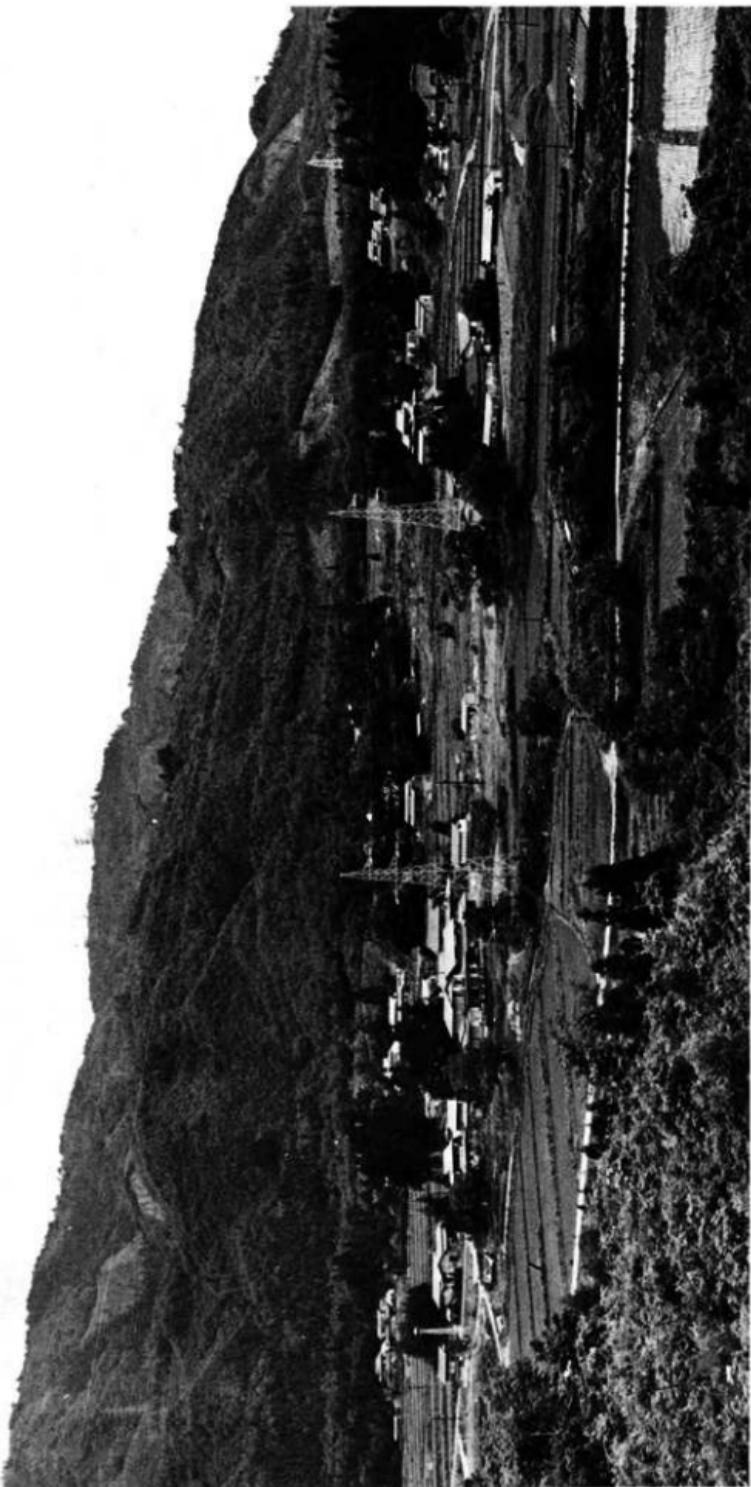
注4) 岩手県文化財審議委員、村井三郎氏に依る。

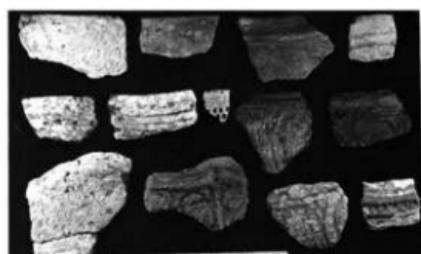
## 写 真 図 版

(1) 大 地 渡 遺 跡

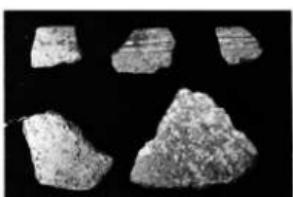


図版1 遺跡遠景（南方よりのぞむ）

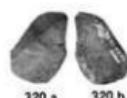




上 5、6、9、7 中 31、8、16、4、3 下 1、2、10、11



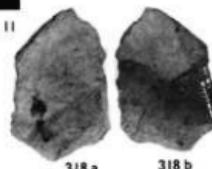
上 34、32、33  
下 35、36



320 a



319 a 319 b



318 a

318 b

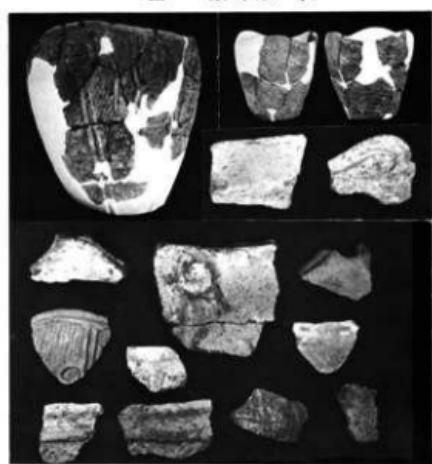
Ce62遺構



全 景(北から)



(上) 炉(1)  
(下) 炉(2)



上 4 a、3、4 b  
中 8、7、\*  
下 \*、\*、9、\*

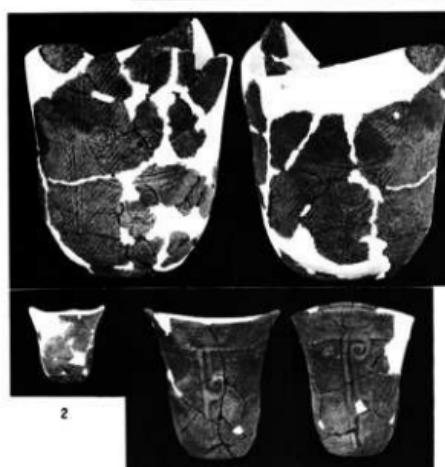


35 a 35 b

29 a 29 b

(3c)

図版 2 Ce62遺構・Ch56遺構



土器出土状況



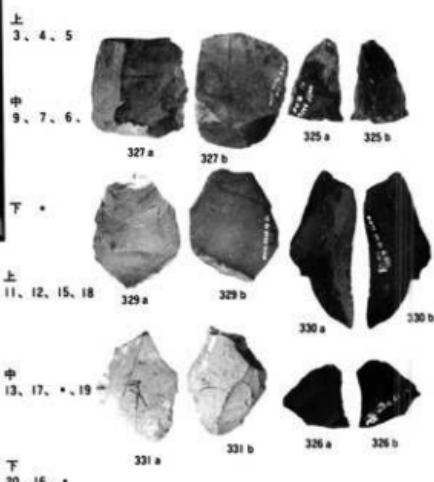
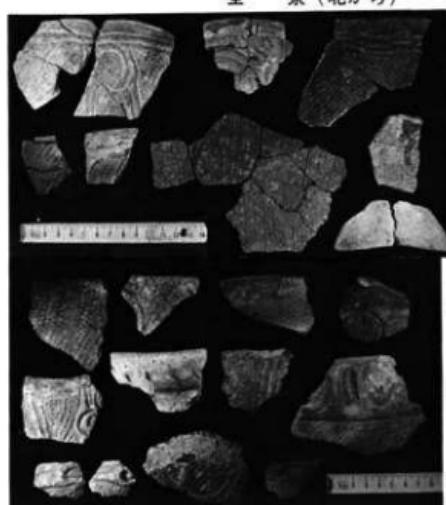
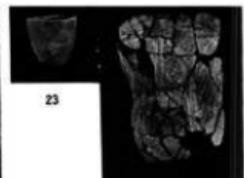
上 5、15、19、20、II  
22、12 II  
14、14 II

下 9、\*、\*、6  
8、4、7  
II、II

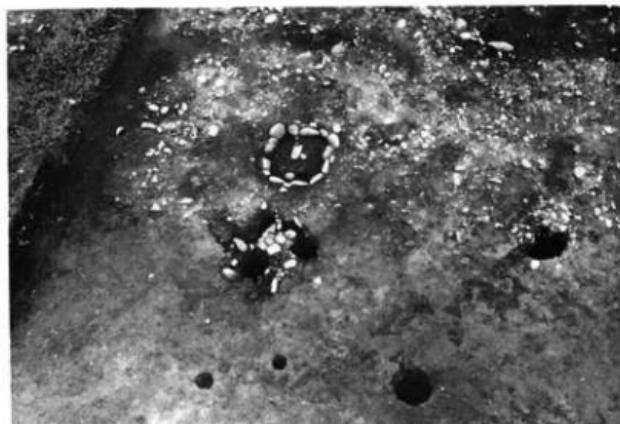
図版3 Ci68住居跡



全 景 (北から)



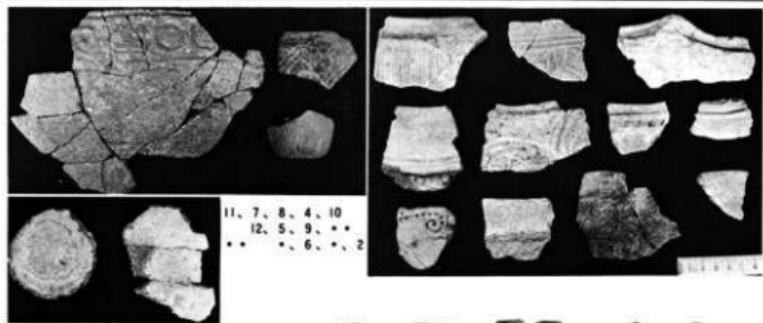
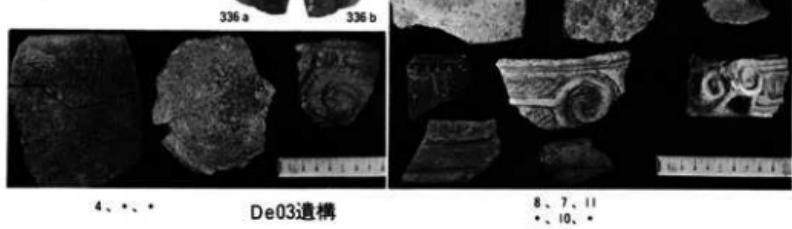
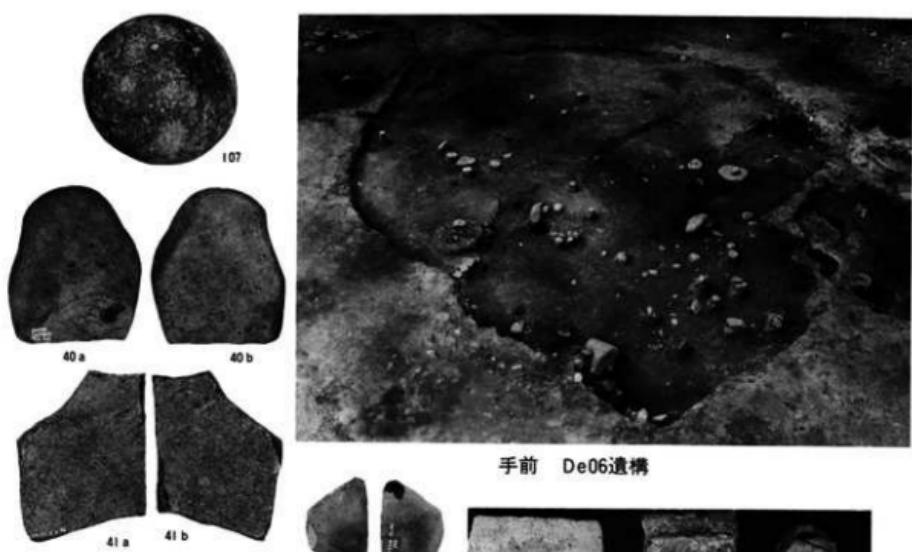
Db59住居跡



炉 細 部

Dco 3 造構

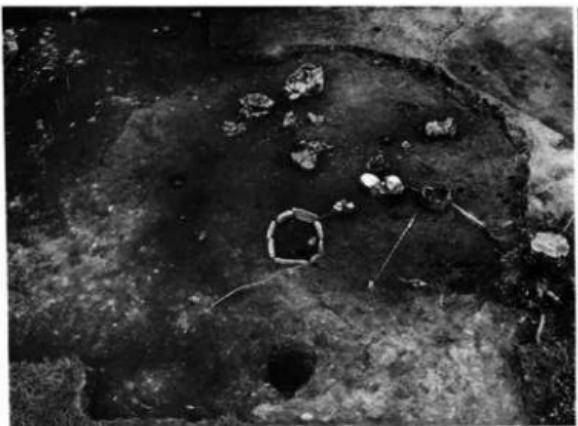
図版 4 Db59住居跡・Dco 3 造構



図版 5 De03・De06遺構

床面

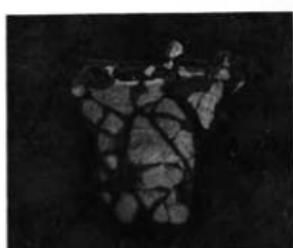
床面



全 景 (南から)



8



2



3

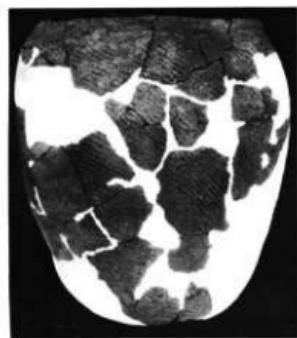
炉細部と  
遺物出土状況



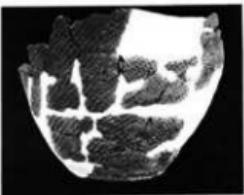
1



1



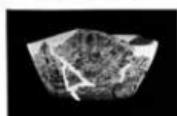
50



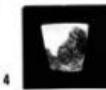
図版 6 Df09住居跡(I)



3 a. 3 b. 3 c



13

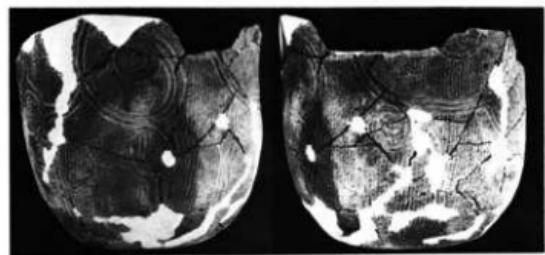


4



54 a

2 a. 2 b



出土遺物

Df09住居跡(2)



全 景



炉細部

図版 7 Df09住居跡(2)・Ef68遺構



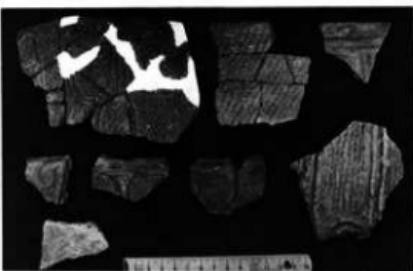
全 景(南から)



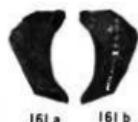
炉細部



6  
8  
8  
\*



2、1、11  
4、3、12、10  
\*



161 a 161 b



8 a



8 b

Df53住居跡



37 a



37 b



l a

l c

l b

l d

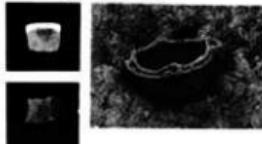


23 a 23 b

図版 8 Df53住居跡・Ed62住居跡(2)

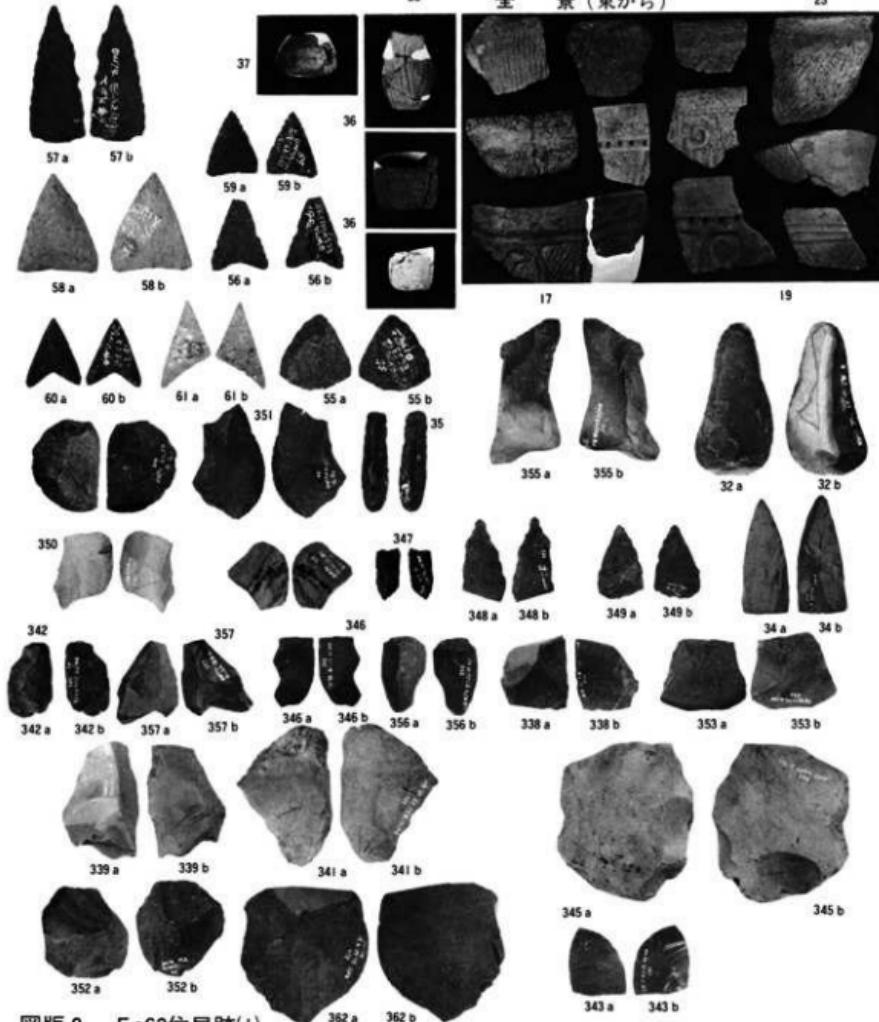


炉 細 部

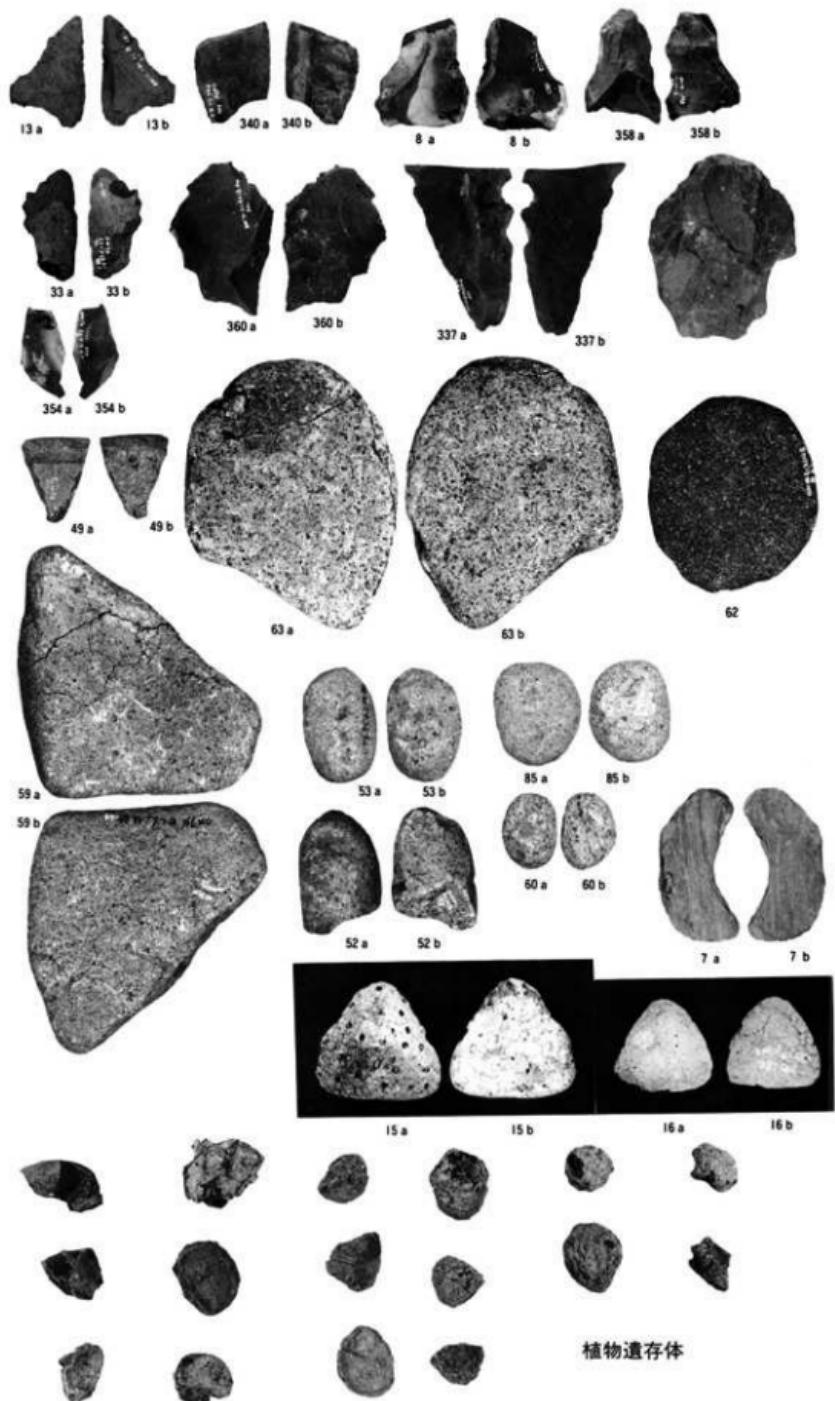


全 景 (東から)

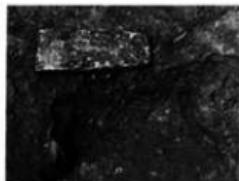
23



図版 9 Ec62住居跡(I)



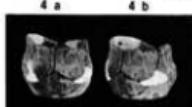
図版10 Ec62住居跡(2)



石斧出土状況

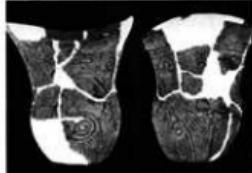


全 景  
(東から)

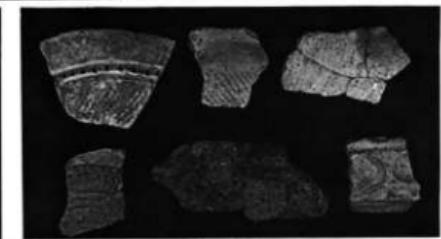
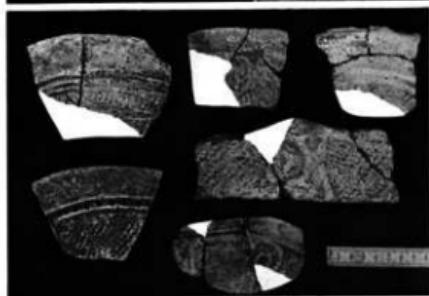


4 a 4 b

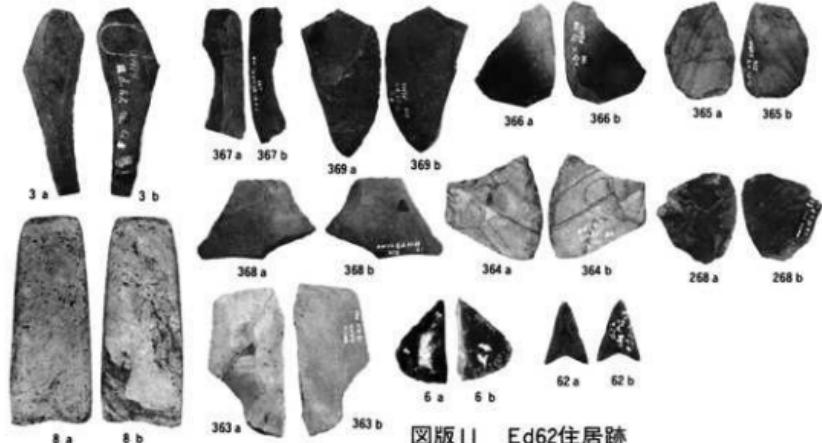
炉 細 部



1 a 1 b



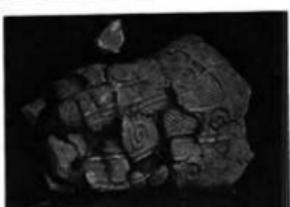
31, 4, 6  
5, \*,  
3  
12, 8  
16, 19, 15



図版II Ed62住居跡



全 景(東から)



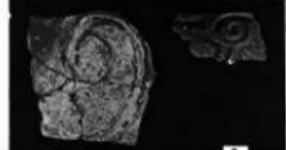
炉細部と土器出土状況



1 a, 1 b

5 a

5 b



4



3

8



32 a



32 b



34 a



34 b



371 a



371 b



64 a 64 b

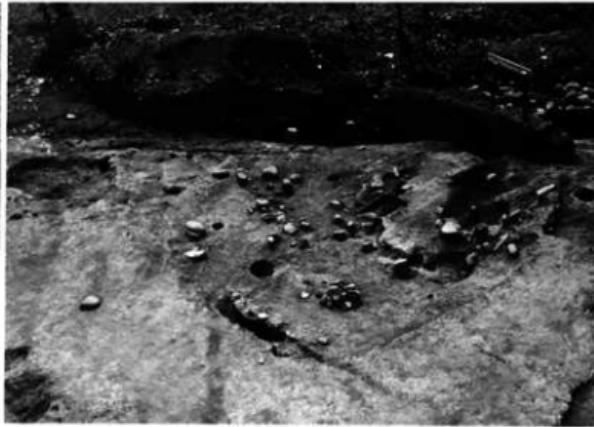


63 a 63 b

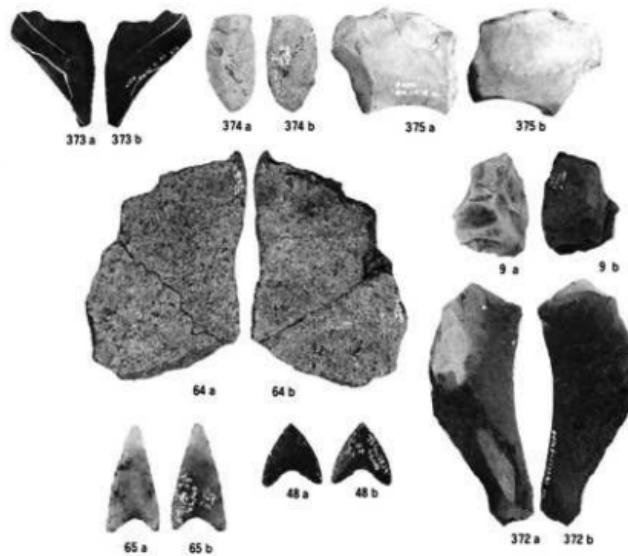
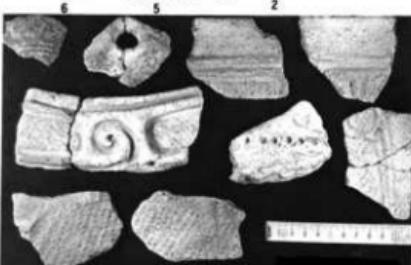
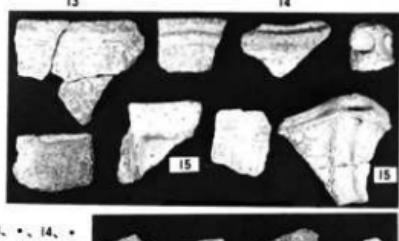
図版12 Ed65住居跡



炉細部



全 景(東から)



図版13 Ee65住居跡



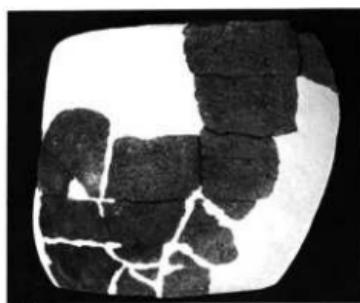
全  
景(北から)



完掘前の状況(南から)



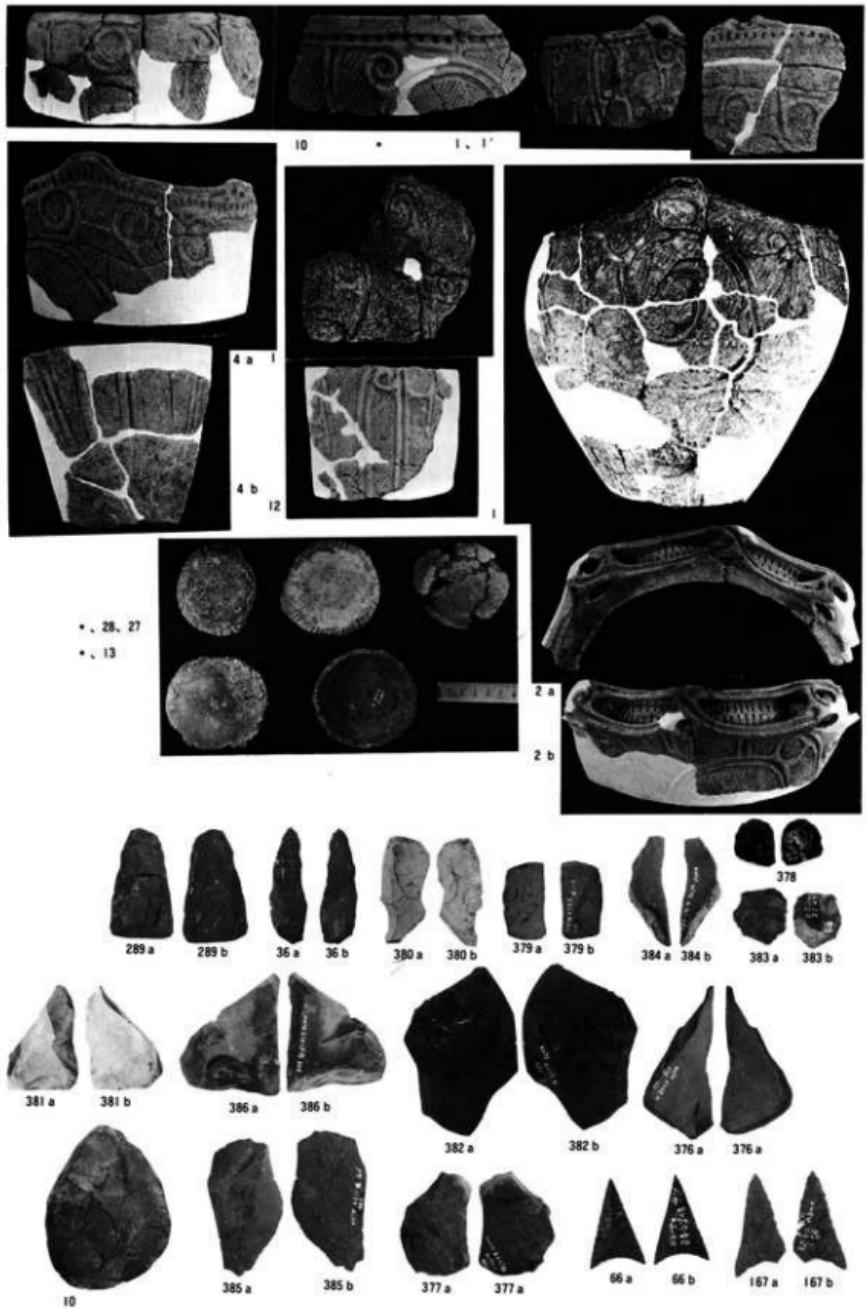
遺物出土状況



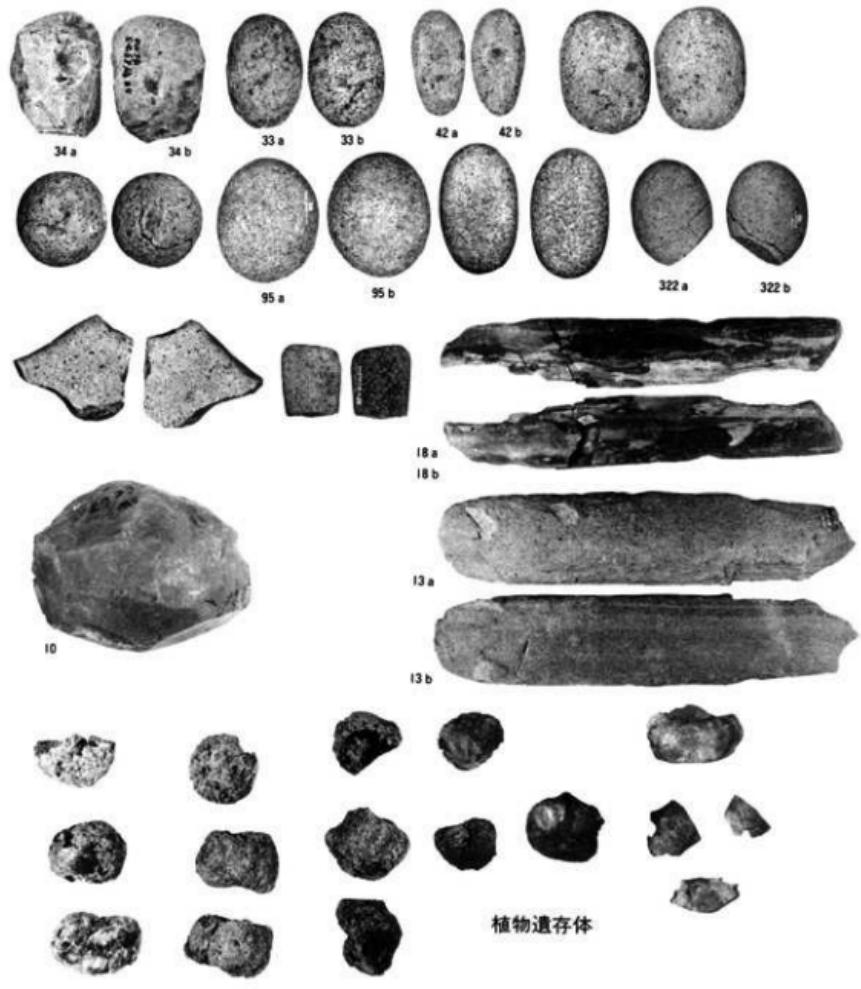
3



図版14 Ee68住居跡(I)



図版15 Ee68住居跡(2)



トチノキ

Ee68住居跡(3)

トチノキ

Ee68遺構  
炉細部

図版16 Ee68住居跡(3)・Ee68遺構



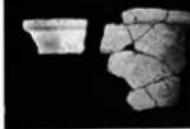
カマド



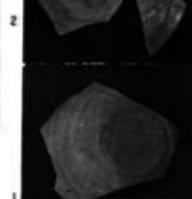
全  
(西から)



5

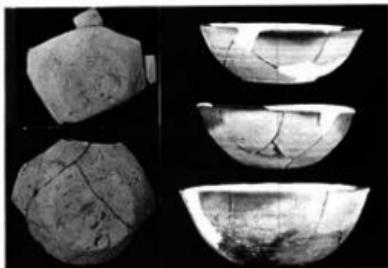


10



2

1



上から 5、4、3

Cf65住居跡

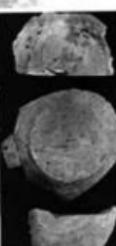
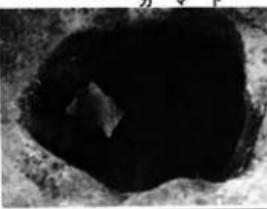


カマド



全 景(南から)

煙出し



De50住居跡

5

6

7

2  
4  
3



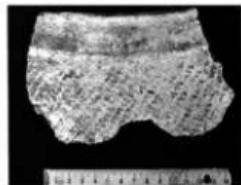
8

9

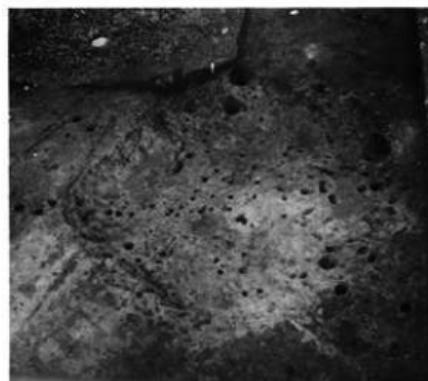
図版17 Cf65住居跡・De50住居跡



全 景（南から）



Ch62遺構



全 景  
(南から)

C j50遺構



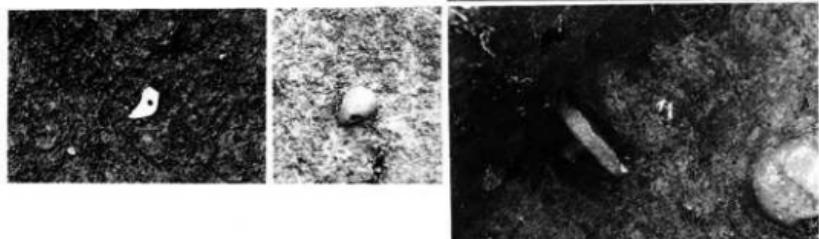
Dh53遺構

Dh50遺構

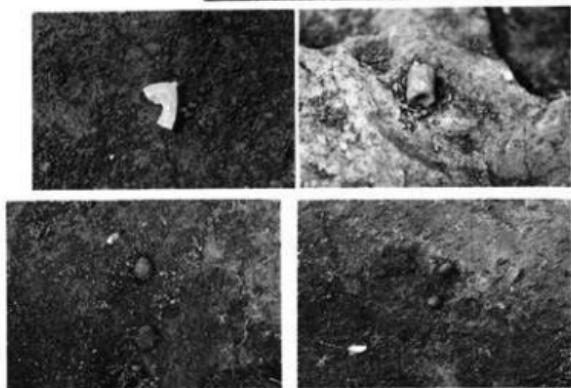
全 景（東から）

手前から、Dh59・53・50遺構

図版18 Ch62遺構、C j50遺構、Dh50・53・59遺構



土 器 類  
石 器 類  
石 製 品 類  
土 製 品 類  
植物種實類



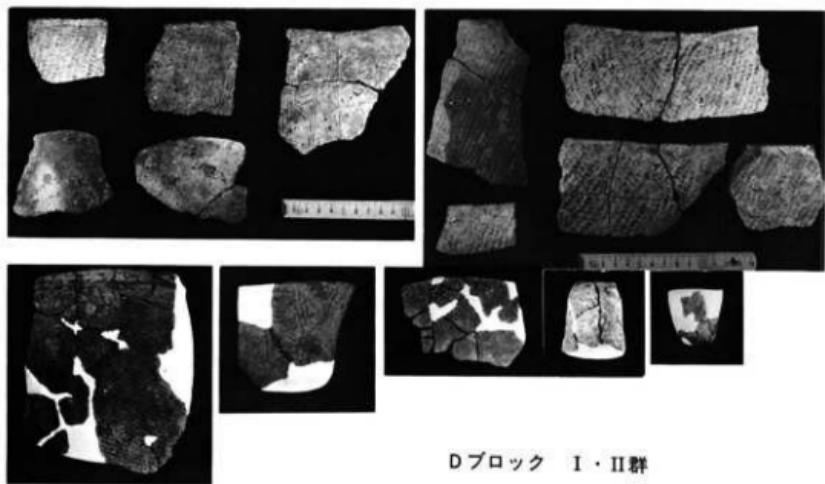
図版19 遺物出土状況



B ブロック

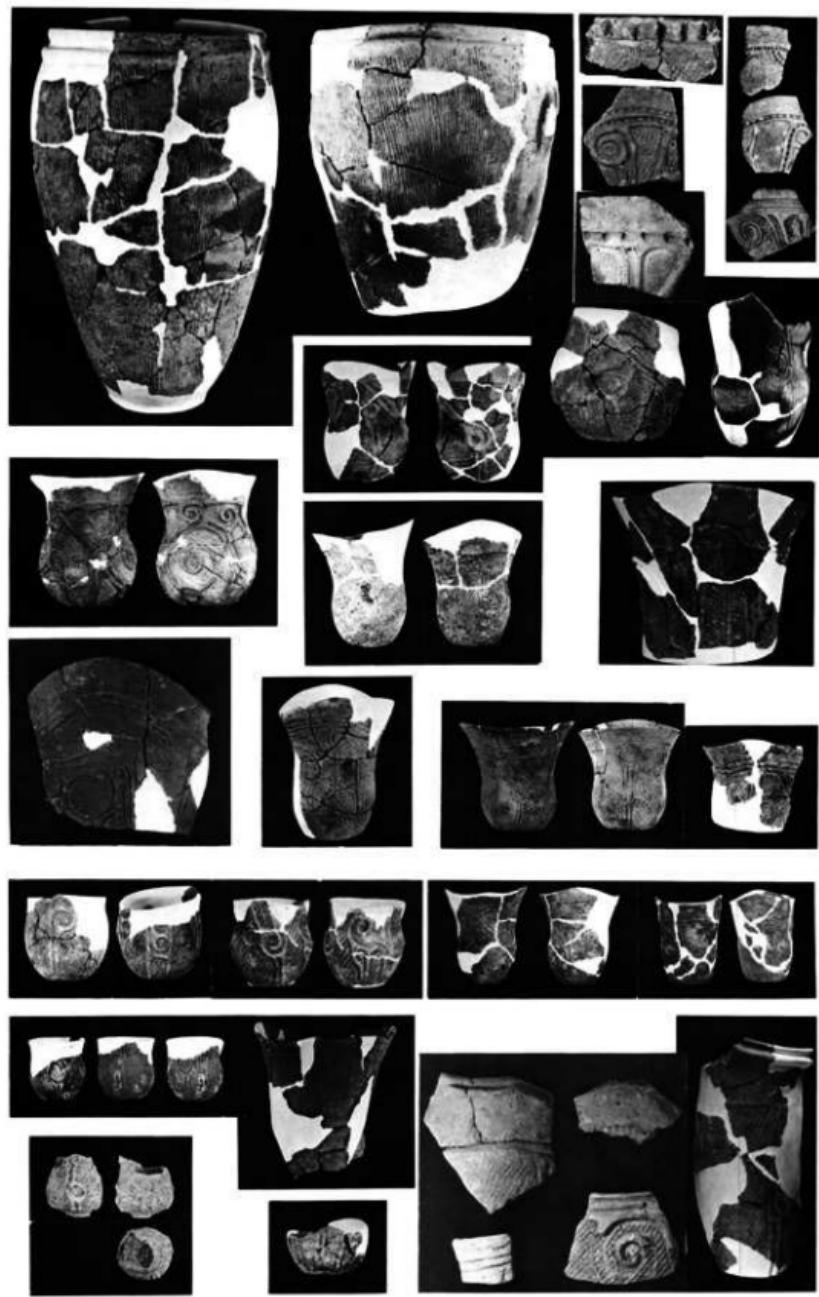


C ブロック



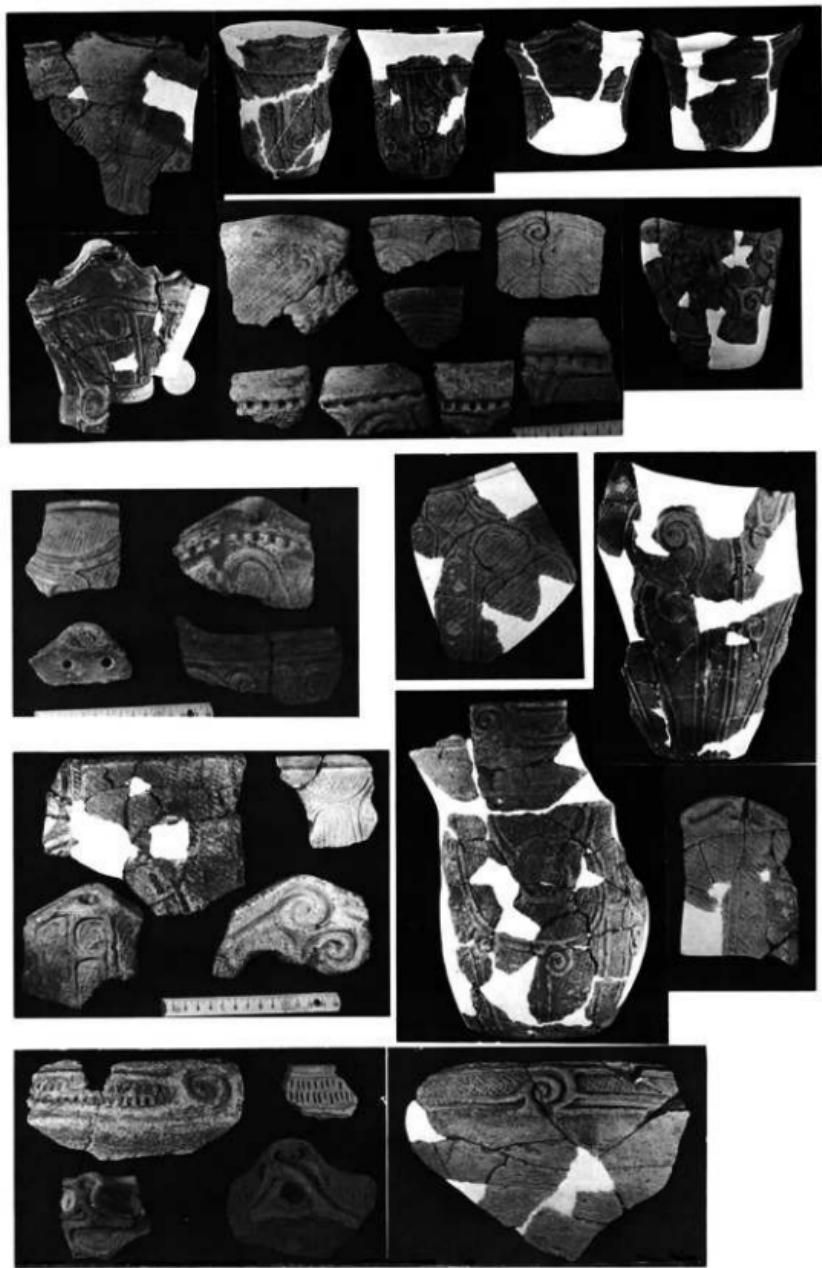
D ブロック I・II群

図版20 B・C・Dブロック出土土器類



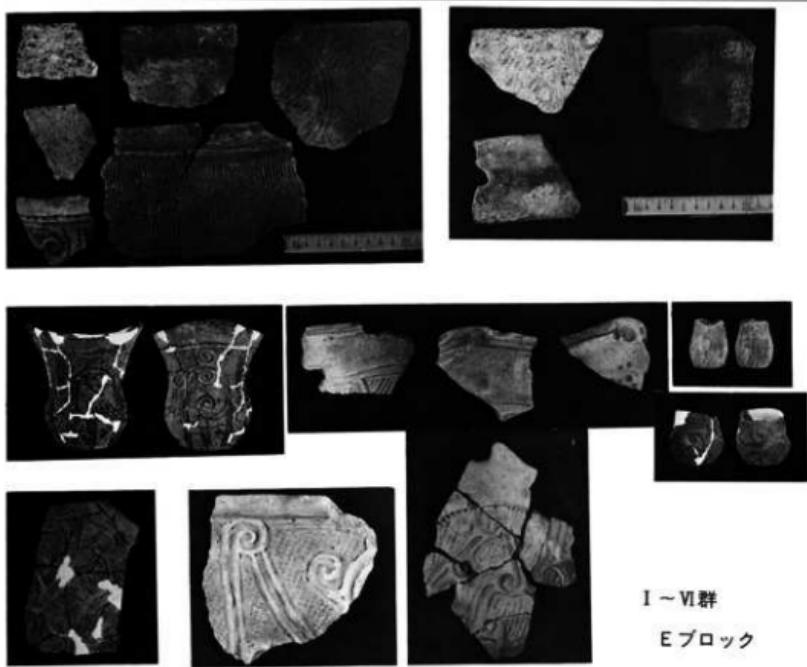
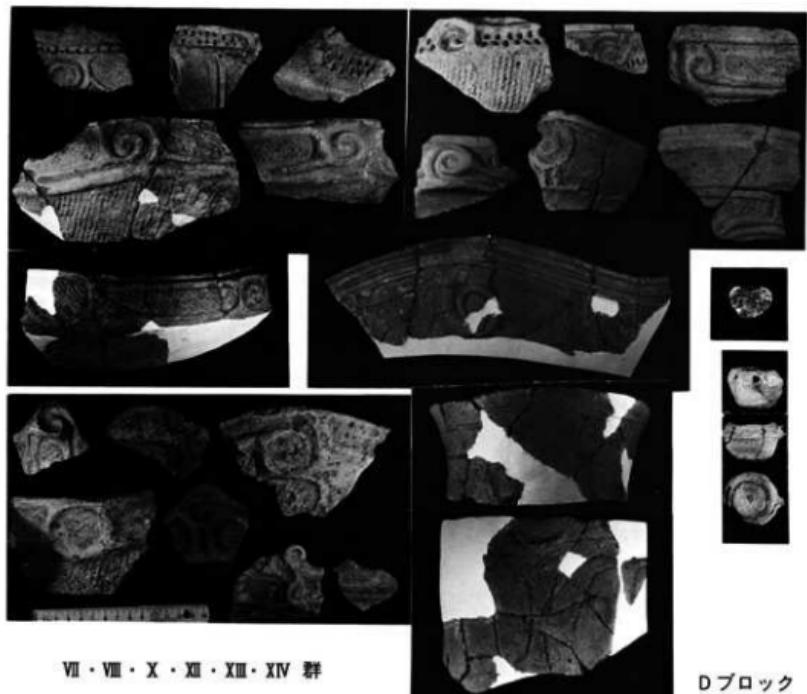
II・III・IV群

図版21 Dブロック出土土器類(2)

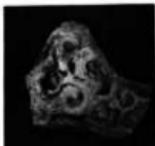


IV・V・VI・VII・IX群

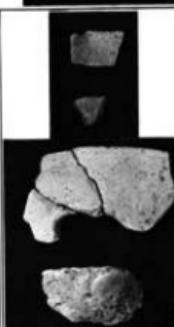
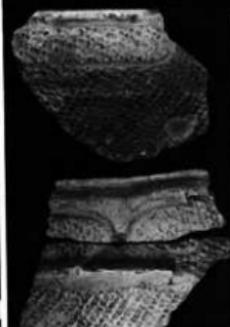
図版22 D ブロック出土土器類(3)



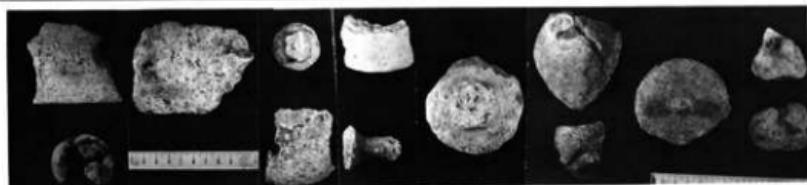
図版23 D・E ブロック出土土器類



A



A



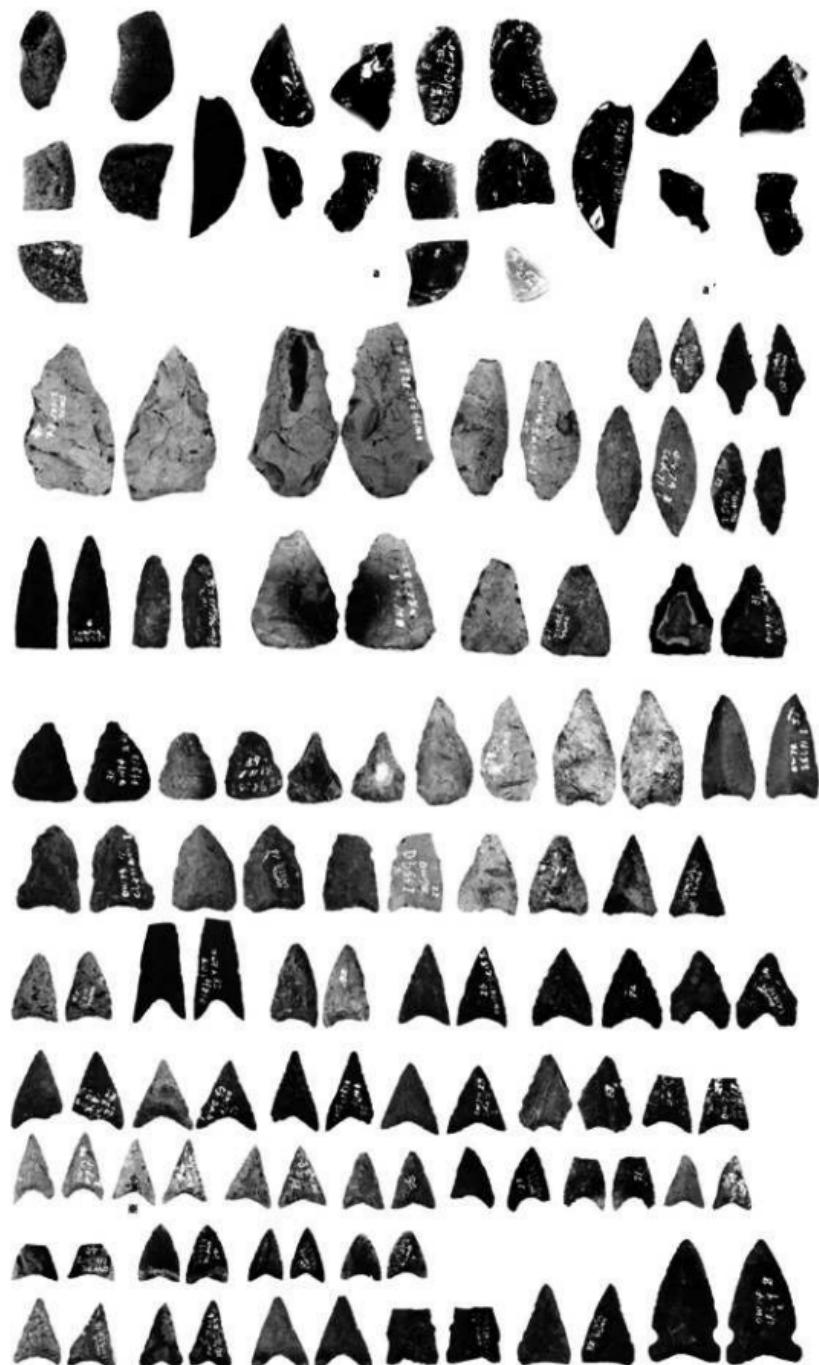
B

B



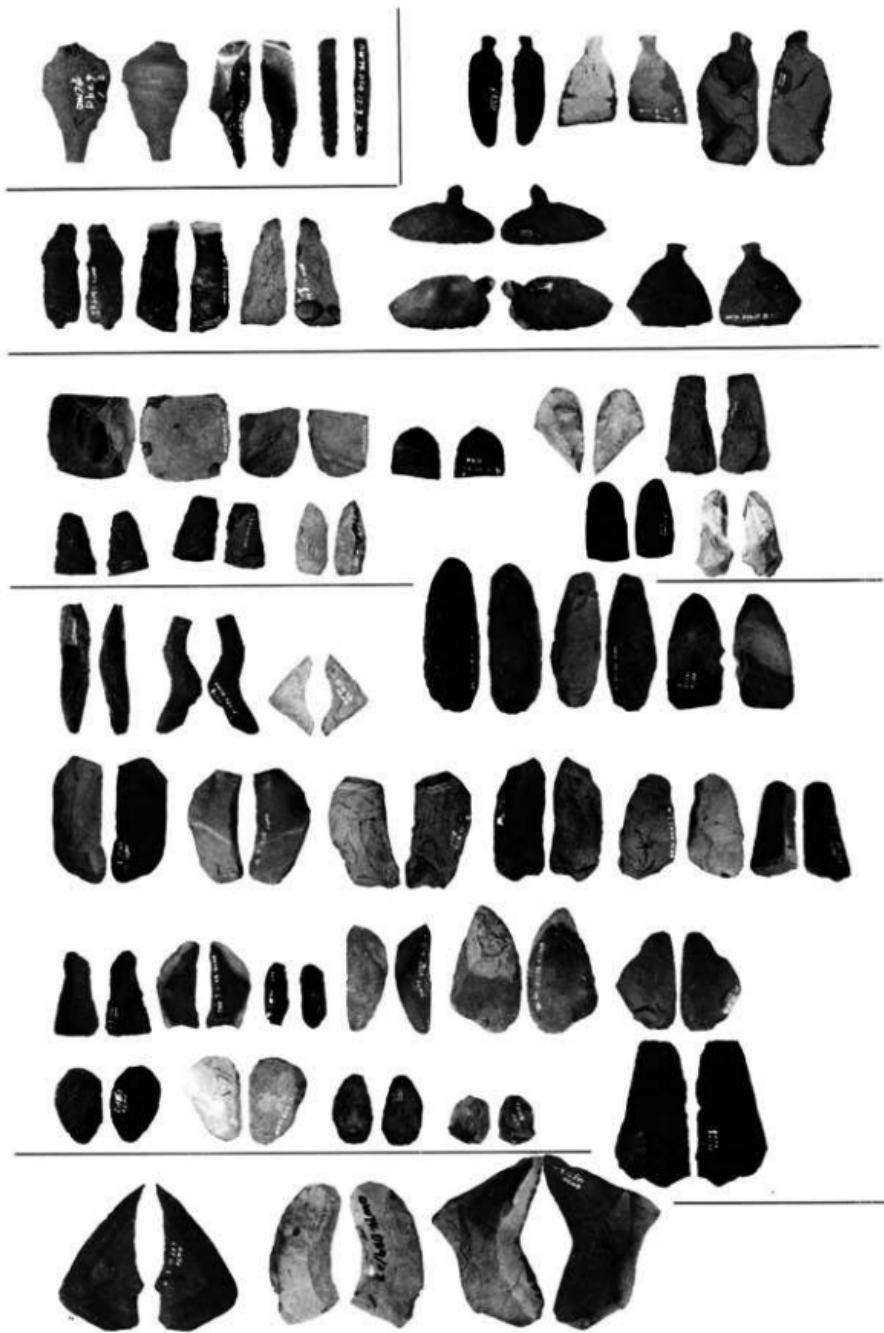
C

図版24 EブロックVII群(A)・その他の土器群(B)・成形の痕跡ある資料(C)



\* アスファルト様のもの付着

図版25 黒耀岩・石器3類(鎌)

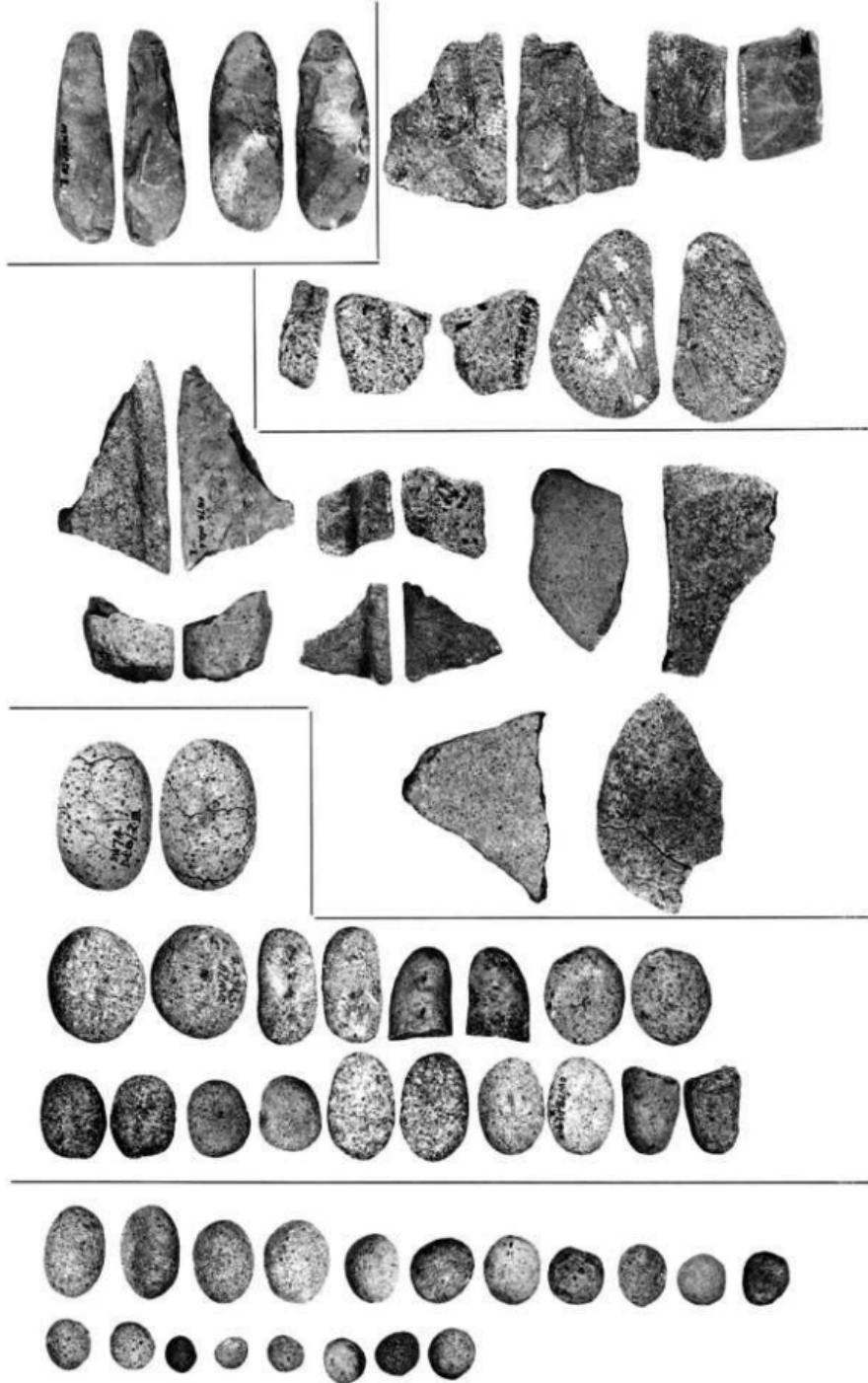


図版26 石器4・5・6・11・7・8類

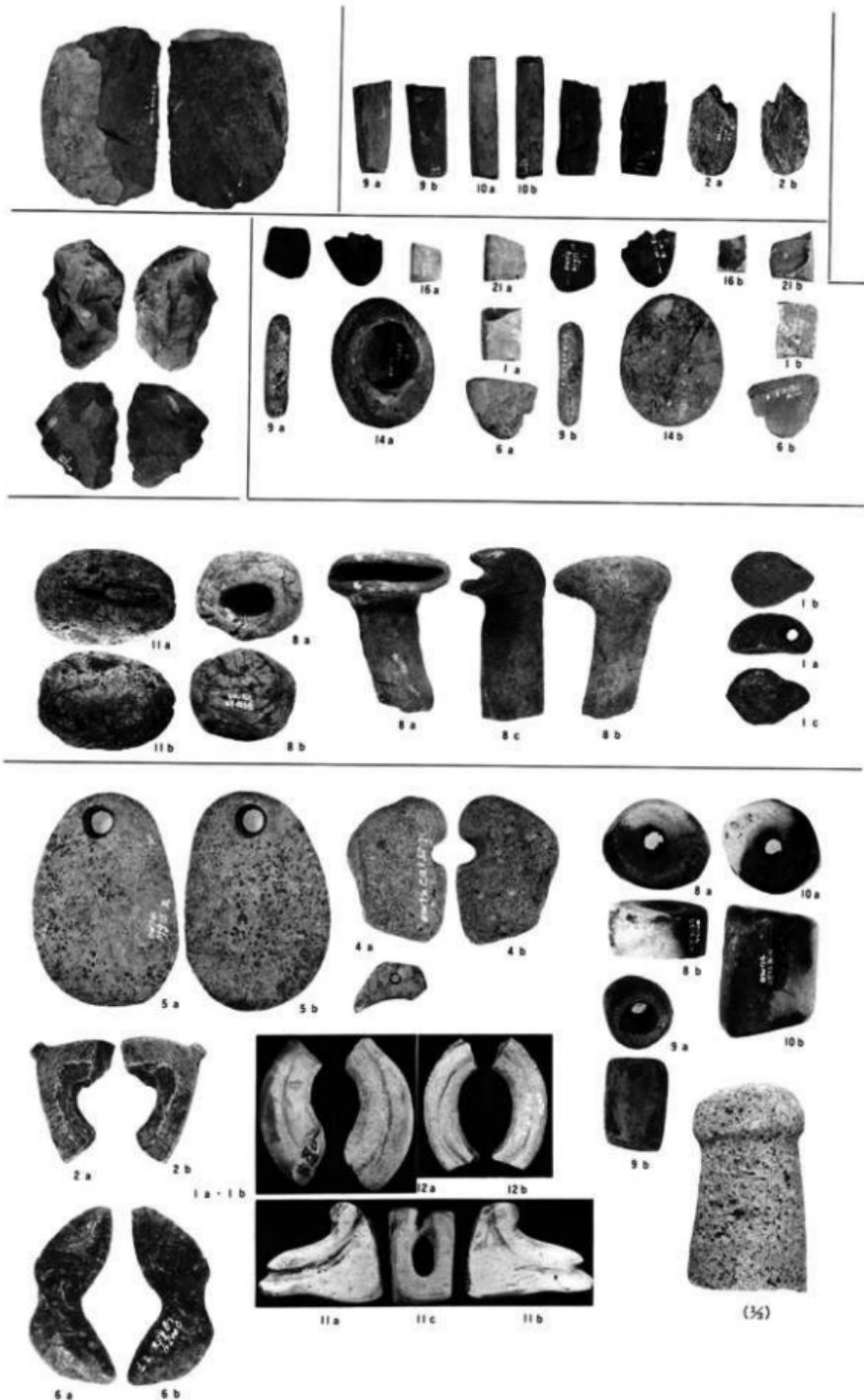


これのみ 1/13

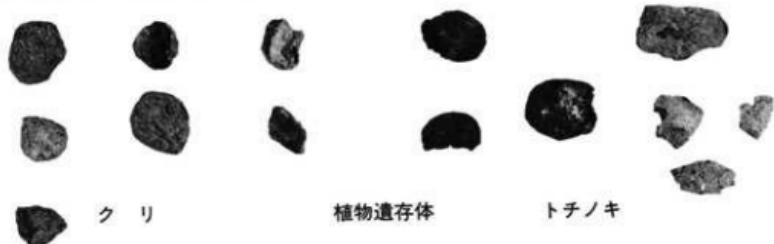
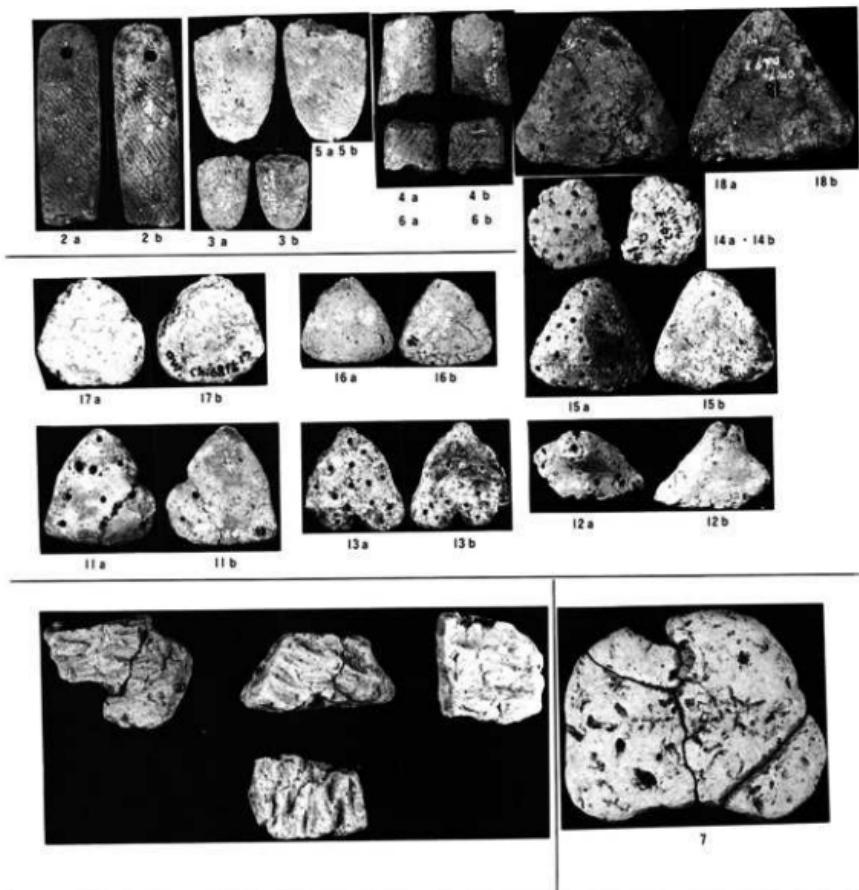
図版27 石器 9・10・12・16類



図版28 石器15・18・19・20・21類



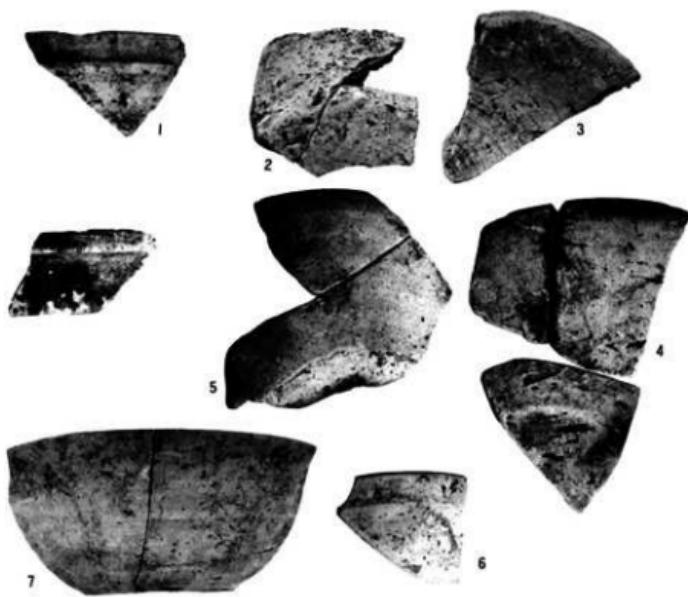
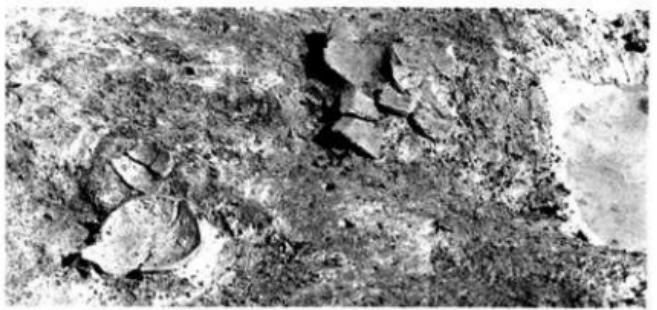
図版29 石器13・14・22・23・24類 土製品・装飾品類



図版30 斧状・三角形・不明土製品、炭化種実、錢貨

(2) 上 台 遺 跡





図版 I



### (3) 南万丁目遺跡



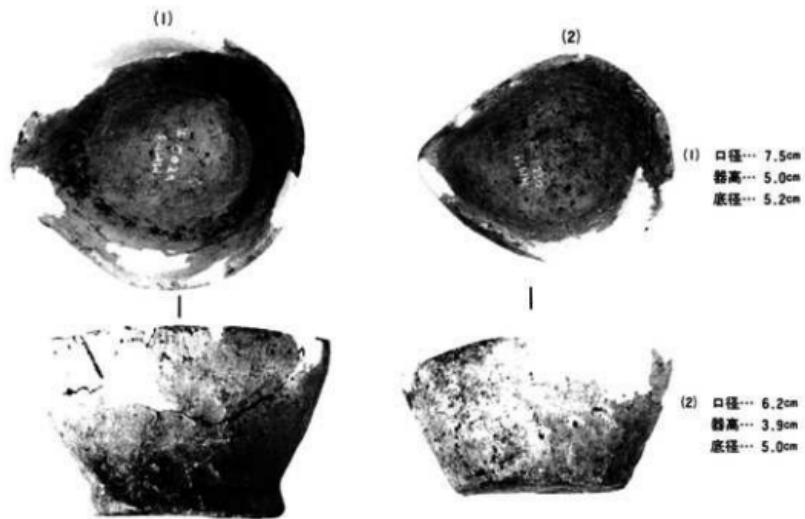


第1図 遺跡全景（南より）



第2図 出土遺物（土師器甕類破片）

図版1



第3図 出土遺物・小形片口土器（土師器）



第4図 出土遺物（陶磁器・焼台類破片）

#### (4) 古 館 遺 跡





上：南縁西側（北より）  
中左：南縁東側（西より） 中右：東縁（北西より）  
下：北縁土壙（右・南西より、左・北西より）

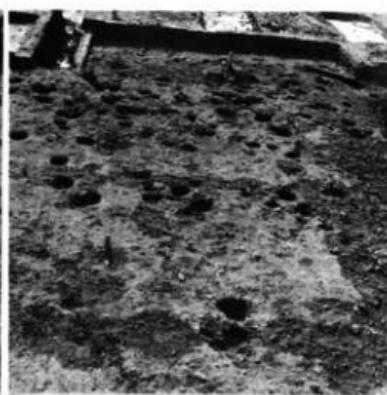
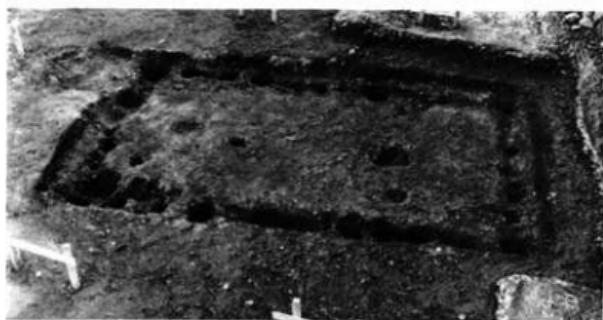
図版Ⅰ 遺跡全景・その他



上 : Cm03焼土遺構(右・西より)

中・下 : Da50焼土遺構

## 図版2 焼 土 遺 構



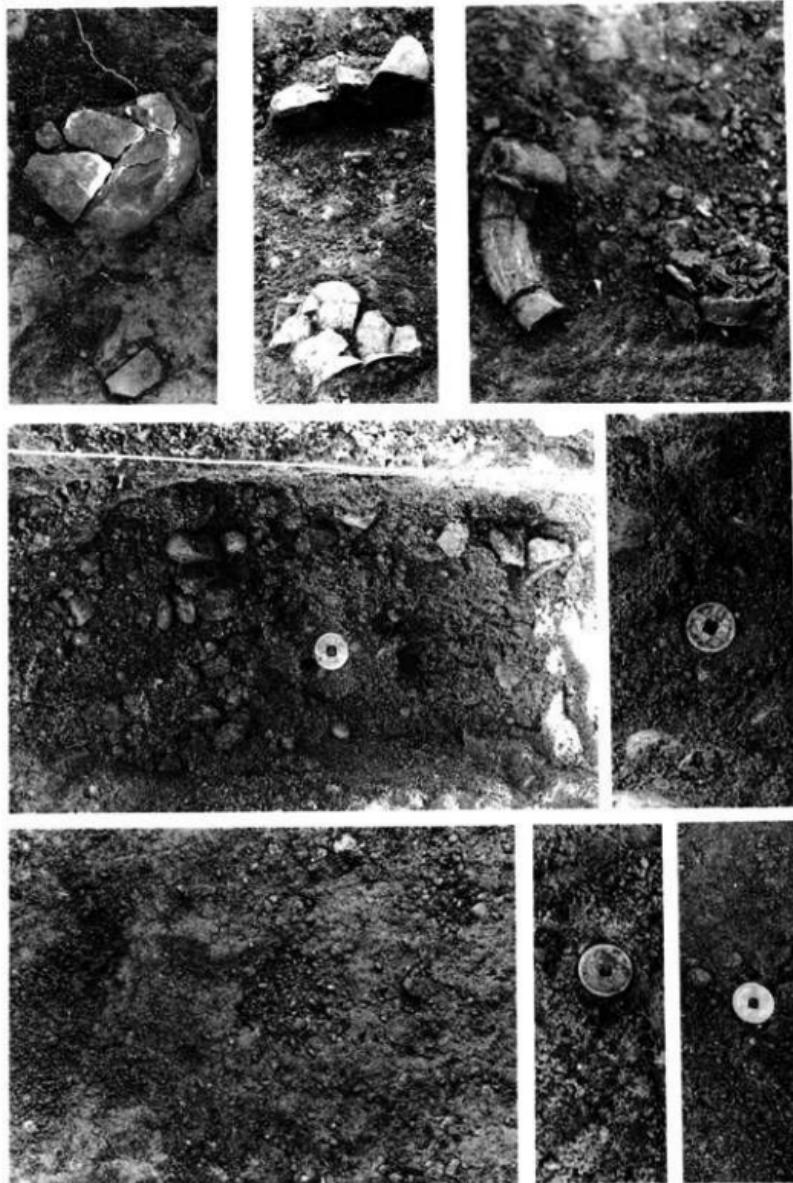
上左：1号建物跡（南より）

上右：3号建物跡(下)、4号建物跡(上)（南より）

中：2号建物跡（北より）

下：南縁柱穴群（北より）

図版3 堀立柱建物跡



上：壺形土器出土状況（左・図版5-7、中・図版5-3、右・図版5-2）

中、下右・中：1号建物跡古錢出土状況（中左・図版9-10、中右・図版9-6、

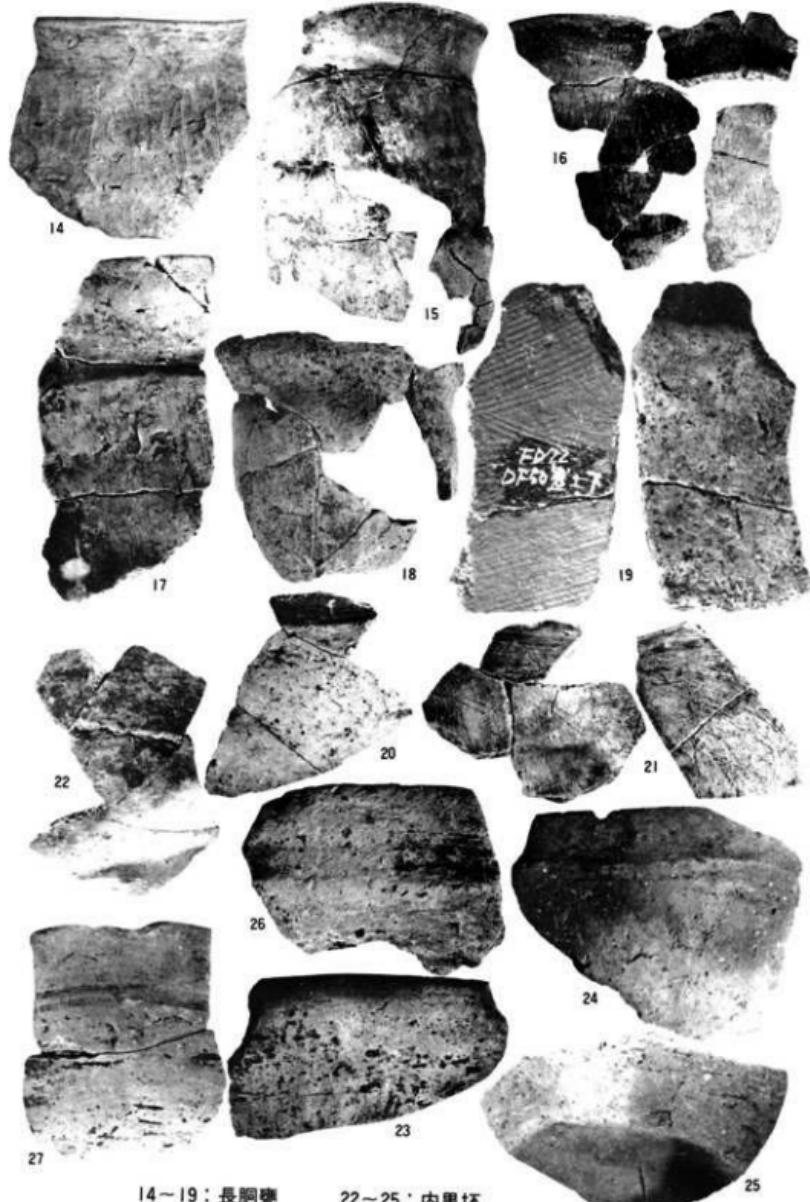
下右・図版9-7、下左・図版9-16）

下左：1号建物跡炭化米出土状況

#### 図版4 遺物出土状況



縮尺不同  
 1 ~ 6 : 長胴甌  
 7 : 球胴甌  
 8 : 壺(非内黑)  
 9 · 10 : 内黒壺(有段丸底)  
 11 · 内黒壺(ろくろ使用)  
 12 : 小型手捏ね土器  
 13 : 内黒壺(丸底)



14~19：長胴甕

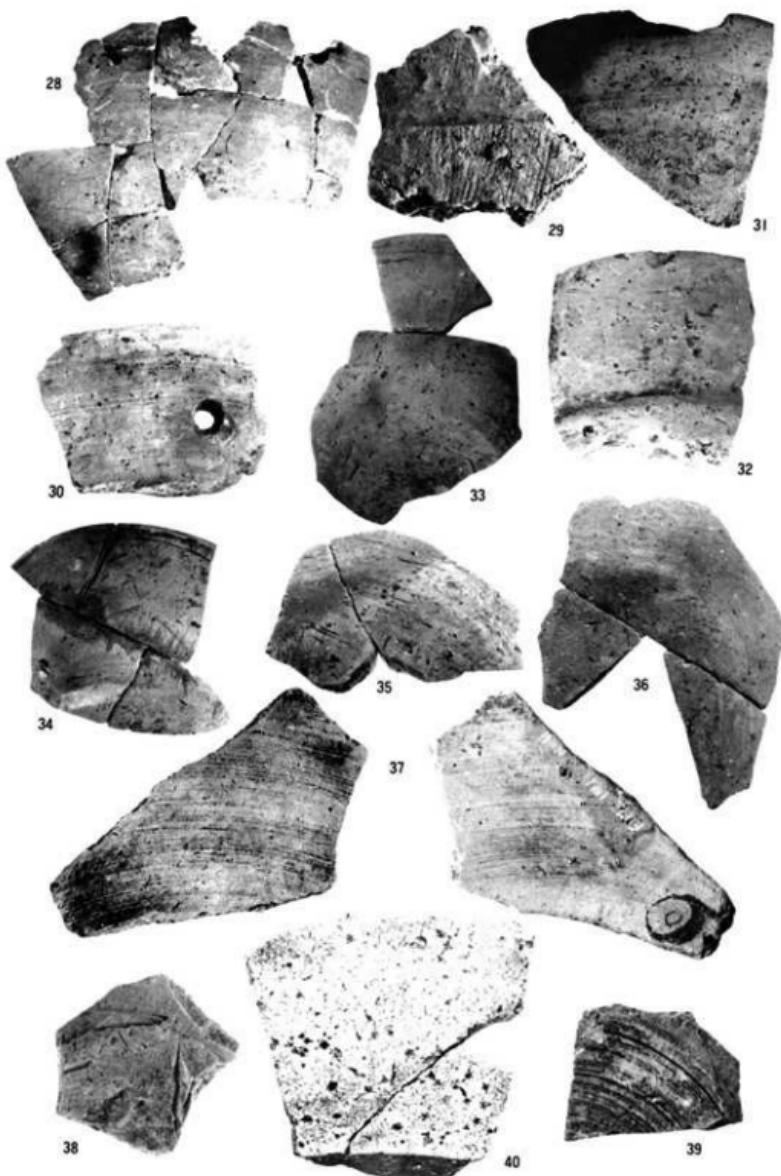
20·21：球胴甕

縮尺不同

22~25：内黒坏

26·27：非内黒坏

図版6 表土等出土遺物II



28：球胴壺(体下半部)

33～36：内黒坏(ろくろ使用)

29・30：長胴壺(頸部)

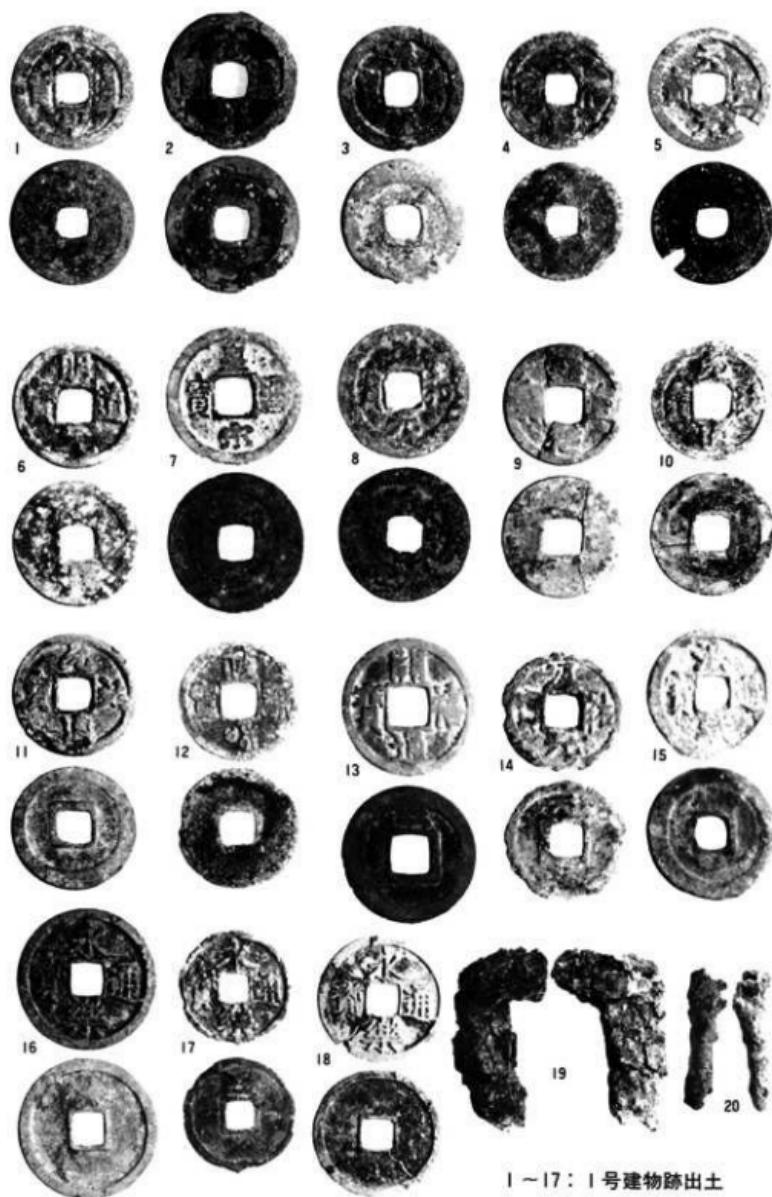
37：非内黒坏(左外面、右内面)

31・32：壺(有段)

38・39：// 底下面(ろくろ使用)

40：陶器

図版7 表土等出土遺物III



1 ~ 17 : 1号建物跡出土

18 : 表採

19・20 : 3号建物跡出土鉄釘

縮尺不同

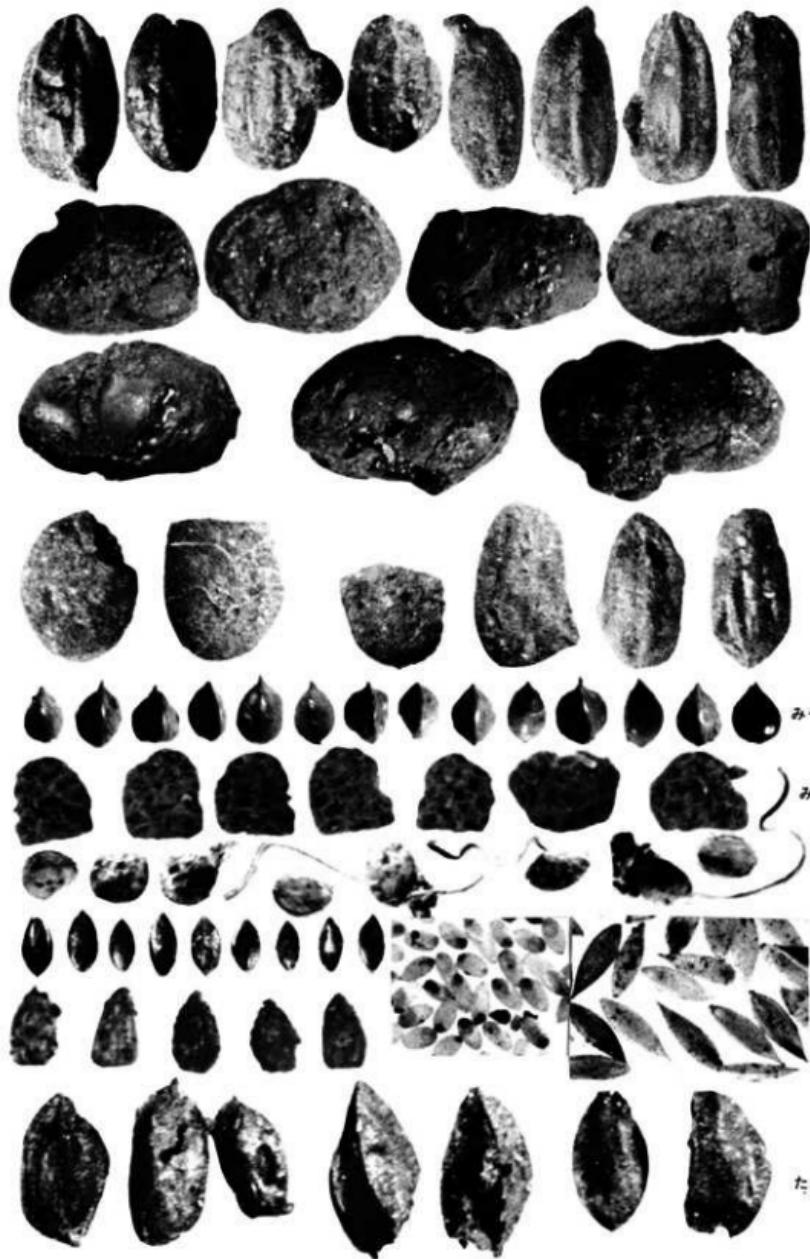


上4段は1号建物出土（上2段：米、3段：小豆、4段：葛の実、上左：小麦）

5段以下は2号建物跡出土（5段：米、6段右4：小豆、左2：葛の実、下：イヌガラシ）

拡大率不同、同段は同じ拡大率

図版9 炭化穀物粒



上 3 段：3号建物出土（上 1 段：米、2・3 段：葛の実）

4段以下：4号建物出土（4段右3：米、左3：葛の実、5段：計測表7・8、6段：計測表15・16、7段：計測表9・10、8段左：計測表18、9段左：計測表17、9段中：計測表11・12、右：その表皮、下段：計測表13・14）

図版10 炭化穀物粒・植物種子

岩手県教育委員会事務局文化課職員一覧

(埋蔵文化財関係)

文化課長	熊 谷 正 男	臨時職員	藤 原 周 子
課長補佐(総務)	鎌 田 良 悅		後 藤 裕 子
課長補佐(調査)	服 部 完 郎		石 田 千鶴子
庶務係長	鈴 木 康 之		村 井 隆
主 事	鹿 糸 幸 弘		小 林 史 子
	佐 藤 伸一郎		村 上 良 子
主任文化財主査	鳴 千 秋		小 林 三 千 江
文化財主査	菊 地 郁 雄		菊 地 純 子
技 師	佐々木 勝		鈴 木 優 子
			赤 坂 恵 子
縦貫自動車道調査班			
文化財主査	吉 田 努		秋 葉 良 子
	三 上 昭		前 田 隆 子
	斎 藤 淳		田 中 ヒ デ
	昆 野 靖		黒 田 あ や 子
	相 原 康 二		伊 藤 ふ く
文化財調査員	八重樫 良 宏		及 川 容 子
	狩 野 敏 男		長 坂 麗 子
	田 村 壮 一		中 山 久 子
主 事	石 川 長 喜		(6月21日退職)
			佐々木 信 子
			(9月30日退職)
臨時職員	木 村 キエ子		高 橋 英 子
	桜 井 芳 彦		(10月16日退職)
	相 星 輝 子		
	高 橋 生 子		
	小 西 エイ子		
	漆 原 悅 子		
	亀ヶ森 恭 子		



---

岩手県文化財調査報告書第56集  
東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書 一VII一  
(大地渡遺跡・野田遺跡・上台遺跡・南万丁目遺跡・古館遺跡)

昭和56年3月 発行

発行 (社) 岩手県文化財愛護協会  
〒020 盛岡市内丸  
岩手県立図書館内

印刷 川 鳴 印 刷 株 式 会 社  
〒021 一関市大槻街4-7  
TEL 0191-23-2415

---